

令和 4 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	13	学校名	県立小瀬高等学校				課程	全日制		学校長名	櫻井 良種					
教頭名	寺門 秀哲		坂本 要				事務(室)長名			栗林 長武						
教職員数	教諭	18	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	8	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	39
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		23	10	24	3	14	8			61	21	3			
	科															
科																

2 目指す学校像

<p>●共有した教育理念</p> <p><u>生徒を主語にした教育</u> 伴走者(支援者)として関わる</p> <p><u>安心・安全な場で行う良質な教育</u> 【ない】からこそできる 小瀬スタイル</p> <p><u>地域と共に歩む教育</u> 地域と Win-Win の協働</p> <p>◆学校として目指す人物(生徒)像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きる力を身に付け、心身ともに健全な人 ・生徒一人一人が希望をもち、確かな学力を身に付け、目指す進路を実現する人 ・社会の一員としての自覚し、社会規範の涵養を図り、自律した人 ・地域の中で歩み、地域で貢献できる人

3 三つの方針(スクール・ポリシー)

育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	(長期的目標) 地域活動のリーダーとして地域の貢献し社会で活躍できる人財の育成
---------------------------------------	--------------------------------------------

別紙様式 1 (高)

教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	(中期的目標) 人間関係能力の育成を図るとともに、コース選択を取り入れた教育活動による幅広い進路希望の実現
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	(短期的目標) ・人とのつながりや地域の絆を大切にしながら、主体的に生きようとする生徒

4 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・入学段階で基礎学力の定着に課題がある生徒が多い。 ・義務教育段階の基礎的な学習内容を確実に定着させるとともに学習意欲を高め、高等学校の授業に円滑に移行させる指導をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上及び ICT 活用の推進 ・家庭学習の定着 ・魅力ある授業展開の工夫 ・個に応じた指導の工夫と探究的な学びの充実
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した計画を立て、進学、就職ともに3月末まできめ細かな指導を行った。就職内定率は18年連続進路決定率100%を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚 ・早期からの進路に対する準備 ・希望する進路の実現
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に落ち着いた生活ができており、指導件数も少ない。通信機器の適切な使い方と交通事故防止に努める。 ・特別な支援を要する生徒への組織的なサポートが必要となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の育成と生徒への適切な支援 ・交通ルール遵守意識の高揚 ・情報端末活用上のモラルとルール
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はコロナ禍のため、実施した行事に制限があった。 ・コロナ禍における新しい学校行事の在り方を検討し、生徒が主体的に活動する場を設定する。 ・個々の活動を整理し、キャリア教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動及び学校行事への積極的参加を促進 ・生徒のリーダーシップの育成 ・キャリア・パスポートの活用
中高一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ・出前授業 (スポット的授業)、部活動交流等の更なる充実を図るために、教職員の連携を密にして交流事業の充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポット的授業の充実・改善 ・生徒交流事業の充実と地域貢献活動 ・相互授業参観による教員交流の充実

別紙様式 1 (高)

働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働本部による放課後の学習指導等地域人材のコロナ禍での活用について検討する必要がある。 ・働き方改革の視点で、ICT の活用を、今後も検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働本部の活動の活用の在り方 ・業務の適正化 ・カリキュラム・マネジメントの充実
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 中期的目標

<p>小瀬スタイルの学びを通して、小瀬型学力を身に付ける</p> <p>～教育活動全体・全教科を通して、小瀬型学力を意識して伴走者として生徒に関わる～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業力の向上……………主体的・対話的な深い学びの実現、タブレット・電子黒板の有効な活用推進 ○ 基礎学力の向上……………実態に応じた授業、新教育課程対応、観点別評価 ○ 小規模化に対応した教育活動の充実……………業務軽減と働き方改革への対応 ○ 体験的・探究的な学びの充実……………「未来創生学」の円滑実施と3年間つながりのある学び ○ 生徒の主体的な活動の推進……………キャリア教育の視点を踏まえた特別活動の推進 ○ 希望進路の実現……………就職100%の継続、公務員・国公立大進学支援の研究 ○ 規範意識の向上……………成人年齢引き下げの時代にマッチした市民教育、主体性の育成 ○ あいさつの励行……………キャリア教育の視点を踏まえた生徒指導の推進 ○ 生徒のメンタル支援……………支援を軸にした柔らかな生徒指導の充実・対応 ○ 中高一貫教育の推進……………少子化に対応した連携スタイルの構築、広報と志願者確保 ○ コロナ禍における学びの保証の実現……………ICTの活用と動画教材等の活用 ○ 新型コロナへの対応……………感染予防対策、感染者発生時の対応等。 ○ 働き方改革の推進……………ICTの活用、地域人材の活用、業務の適正化等。

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
教科指導・学習指導 基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、数学、英語の小テストを効果的に実施して学習意欲と基礎学力を向上させる。 ・体験的・探究的な学びを充実させ、生徒の主体的な活動を推進する。

別紙様式 1 (高)

<p>小規模化に対応した教育活動の充実 ICT 活用の推進 探究的な学びの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が各種技能審査等に挑戦し、合格できるように指導する。 ・タブレットや電子黒板の活用を推進するとともに、オンラインを含め授業の進め方など、ICT の活用を研究し、授業力の向上を図る。 ・「OSEタイム」を軸とし、「未来創生学」を含め3年間の教育活動を通して探究的な学びの充実について実践する。
<p>進路指導 希望進路の実現 体験的な学習の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解を深めるとともに、夢や希望をもち、将来の生き方や職業について考え、自己を生かした進路実現が達成できるよう導く。 ・キャンパス見学、企業見学、インターンシップなどの体験的な学習を通して、進学や就職への理解を深めながら、社会に適応できる力を育む。
<p>生徒指導 規範意識の向上 あいさつの励行 生徒のメンタル支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成人年齢引き下げの時代にあった市民教育や主体性の育成に努める。 ・キャリア教育の視点を踏まえた生徒指導の推進を図る。 ・生徒支援を軸にした、柔らかな生徒指導の充実と対応に努める。
<p>特別活動 生徒の主体的な活動の促進 キャリア教育的視点を踏まえた特別活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に生徒主体の学校行事運営をし、当事者としての意識を育む。 ・社会で必要とされるスキルの育成やキャリア教育の視点を踏まえて、探究的な学びを推進する。 ・部活加入率や継続率を向上させ、部活動をより活性化させる。
<p>連携型中高一貫教育 連携型中高一貫教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明峰中学校及び近隣中学校、地域の関係機関に積極的に情報を発信する。 併せて、「地域の中で歩み、地域に貢献できる人」の育成に努める。 ・少子化に対応した連携スタイルを構築し、広報の充実と志願者確保に努める。
<p>働き方改革 業務の適正化と組織内部の効率性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における、ICT の活用や地域協働本部等の地域人材の活用方法の検討を進める。 ・業務の適正化を図り、組織内の連携を機能させ、効率性・生産性を高め、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。